

# 校長室だより 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

## 俺がやる

「俺がやる」は、2014年のソフトバンクホークスのスローガン。一人一人が責任を持って意欲的に取り組む。そして、首位奪還！

どうやら、このスローガンが功を奏してか、首位奪還が目前に迫ってきました。

この「俺がやる」は、5年生の自然教室での子どもたちの姿にも見られました。

私が、自分で使った食器を洗おうとしていたら女の子が

「校長先生、私が洗います。」

私がかまどの掃除をしていたら男の子が

「校長先生、僕がやります。」

2日目の朝食の後、自分が使った食器を戻そうとしていたら

「校長先生、僕がやります。」

いやいや、うれしくて仕方ありませんでした。

いやなこと、面倒くさいこと、大変なことは避けて通りたいものです。見て見ぬふりをしたいものです。だからこそ、「俺がやります」「私がやります」という言葉に、とても大きな価値を感じるのです。

## つながり

先日、愛媛大学教授露口先生のお話を聞かせていただく機会がありました。人のつながりが、子どもの学力にどのような影響を及ぼしているのかというお話でした。

「我が子の友達の親を知っている」という親の子は、学力により影響が表れているそうです。また、「学校の教員相互の関係が良好である」と、これもまた子どもたちの学力により影響と与えているというお話を、たくさんさんのデータをもとに聞かせていただきました。

このお話を聞きながらふと思いました。5年生の自然教室の夜8時。キャンドルの集いの時間に合わせて、遠い夜須高原に集まって来てくれたたくさん先生の。

この“つながり”は、必ず子どもたちの成長に良好な影響を及ぼすに違いないと確信しました。



## とらうま

私が苦手としているものの一つに、電車の駅の自動改札口があります。切符を入れると私の太股ぐらいの高さにある扉がパタンと開いたり閉じたりするやつです。

以前、切符を入れて改札口を通ろうとした瞬間、料金不足でパタンと扉が閉まって恥ずかしい思いをしたことがあります。

それ以来、改札口を通るたびに、また扉がパタンと来るんじゃないかとびくびくしているのです……。

という話のある人にしておりましたら

「こういうのもやっぱりトラウマって言うんだよね。」

「そうだね。やっぱり過去の体験を引きずっているんだよね。」

「あ、そうそう。そう言えば、“とらうま”の“とら”ってどういう字だったっけ……。」

「(@\_@;)」



## だそく 蛇足

トラウマ (trauma) とは、過去の強い心理的な傷がその後も精神的障害を及ぼすことで、心的障害と訳されています。

トラウマは決して「虎馬」ではありません。

この時の話し相手は……

……秘密です！